

## 新型コロナの感染拡大が止まらず！松戸でも連日多数の感染者が！

### 50人を上回る日もあった1月

新型コロナウイルスの蔓延は、健やかな気持ちで新年を迎えたい思いにも、深い影を落としました。昨年からの国民こぞって感染の拡大予防に意識を向けてきましたが、新しい年を迎えてなお、その脅威は留まるところを知りません。そして1月17日には、なんと61名もの方々が、新たな感染者として判明し、これは現時点（記事執筆1月25日現在）で最も多い数値となっています。

その後も、19日には35名、20日には32名、そして22日には46名とまたしても50の大台を越えそうな勢いとなっており、予断を許さない状況です。

一方で、感染の拡大・縮小の傾向を計る指標に「実効再生産数」というものがあります。Rt という単位を用いて、1.0を下回れば減少、超えると拡大の可能性を示すものです。感染者数は大きく減らないものの、この実効再生産数うは下降傾向にある点に、期待を寄せたいものです。とはいえ、まだまだ安心できるレベルではありません。引き続き手洗い・うがい・不用な外出を控え、新型コロナウイルスの封じ込めに最新の注意を払い続ける必要があるといえるでしょう。



### ワクチン接種の準備を進めます

世界が期待するものが、ワクチンの普及でしょう。一部の国・地域では、既にワクチンの提供が始まり、摂取可能な状態になったところもあると報道されています。

我が国においても、複数の開発メーカーとの合意で、すべての国民が2度ずつ摂取できるだけの数の確保をしたというニュースも耳にするようになりました。

ワクチンの数はともかくとして、国は、ワクチンの流通ルートの確立を急ピッチで進めています。全国に1万の拠点を配し、ここに冷凍ワクチンをストックします。そして、各地に細かく配備したサテライトスポットに送り、同所にといたワクチンは冷蔵保存したうえで、5日以内に投与するという計画です。

松戸市も、国からの連絡をもとに、ワクチンの供給が開始された時期以降、スムーズな投与を可能にするための体制作りに着手し始めました。新型コロナウイルス対策に大きな一手となるであろうワクチンの接種が可能となり、安心の暮らしに近づけるよう、必要予算の確保に努めていきます。



## みのわ 信矢 プロフィール

- 昭和42年 松戸市常盤平生まれ
- 昭和55年 松戸市立常盤平第一小学校 卒業
- 昭和58年 青山学院 中等部 卒業
- 昭和61年 青山学院 高等部 卒業
- 最終学歴 青山学院大学 経営学部 卒業

### 市議会議員としての主な経歴

- 松戸市予算審査特別委員会副委員長
- 松戸市決算審査特別委員会副委員長
- 松戸市立病院建設検討特別委員
- 教育経済常任委員長
- 都市整備常任委員長

### その他の経歴

- ◇中央学院大学 法学部講師（地方自治論）
- ◇介護事業所 取締役
- ◇NPO法人地域政策研究所 理事
- ◇公益社団法人 松戸青年会議所 常任理事
- ◇松戸市子ども会常盤平地区 会長 など

### 趣味

- ◆楽器演奏（エレキギター）、読書、映画鑑賞
- ◆学生時代はバスケットボール部

HPもご覧ください！ **みのわ信矢** **検索**

連絡先 松戸市金ヶ作418-94